

1. 基本情報

- (1) 国名：ネパール連邦民主共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：カトマンズ
- (3) 案件名：トリブバン大学教育病院医療機材改善計画（The Project for Improvement of Medical Equipment in Tribhuvan University Teaching Hospital）
- (4) 事業の要約：トリブバン大学教育病院（以下「TUTH」という。）に対して MRI、超音波検査器、マンモグラフィ等の診断・治療用医療機材の供与を行うことにより、教育・保健サービスの向上を図り、もって地方・農村部の貧困削減に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ネパール政府は「ネパール保健セクター戦略プログラム実施計画 II（Nepal Health Sector Programme Implementation Plan 2（NHSP-IP2））（2010-2015 年）において、すべての人が支払可能な費用で必要な保健サービス（EHCS: Essential Health Care Services）を受けられることを目標に掲げている。

NHSP-IP2 の中で、都市部の貧困者や弱者に対する一定の質を保ったサービスの提供は重点課題の一つとされており、TUTH は人口流入が進み約 100 万人の人口を抱えるカトマンズ市内でそうした保健サービスを提供する病床数最大規模の公立病院である。我が国は「トリブバン大学教育病院建設計画（1982 年）」や「トリブバン大学附属教育病院拡充（1990-92 年）」において同大学教育病院の建設、医療機材の整備、病院施設の拡充等を行ってきたが、カトマンズ市内の人口増加に伴う患者数の増加（外来患者数約 38 万人（2011/12）→約 48 万人（2013/14））も相まって、長い待ち時間、必要な検査が行われないなどの弊害が生じている。

加えて、TUTH は現職医療従事者及び医師や看護師を目指す医学生に対し臨床教育を提供しているが、NHSP-IP2 において、保健人材の質、量の不足は長年の課題として指摘されている。

こうした背景の下、ネパール政府は日本政府に対し、TUTH における保健サービスの改善、現職医療従事者や医学生に対する臨床教育機能の強化を達成することを目的として、同病院に対する医療機材の調達に関する無償資金協力を要請した。

- (2) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対ネパール国別援助方針における重点分野として「地方・農村部の貧困削減」が定められ、また、対ネパール JICA 国別分析ペーパー（2012 年 2 月）において、「教育・保健サービスの向上」は重点開発課題であると分析しており、本事業はこれら分析、方針に合致する。

- (3) 他の援助機関の対応

ネパール保健セクター戦略プログラム（Nepal Health Sector Program 2: NHSP2）への財政支援：世界銀行、DFID、オーストラリア政府、KfW、GAVI Alliance

NHSP2 への技術支援：UNICEF、WHO、GTZ、USAID、KOICA

(4) 本事業を実施する意義

本事業は診断・治療用医療機材を通じて、TUTH の第三次病院（救急救命センター）としての機能及び臨床教育機能の向上を図ることを目的としており、我が国及び JICA の援助方針とも合致することから実施意義は高い。また、保健医療サービスの強化は患者の生命の脅威から保護することに貢献し、人道上のニーズの観点から我が国の推進する人間の安全保障に沿うものであり、無償資金協力としての本事業実施を支援する意義は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

カトマンズ市において、トリブバン大学教育病院(TUTH)に対して医療機材の供与を行うことにより、教育・保健サービスの向上を図り、もって地方・農村部の貧困削減に寄与する。

② 事業内容

i) 調達機器等の内容

MRI、超音波検査器、マンモグラフィ、中央滅菌供給部門機材、X線透視装置（C-Arm）、人工呼吸器等（協力準備調査にて確認）

ii) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札支援、機材に係るメンテナンスへの対応に係る研修、上述の機材の使用に係る医療従事者向け研修の実施等（協力準備調査にて確認）

iii) 調達・施工方法

機材は日本及び第三国から調達し、ネパールへの輸送費用は日本側で負担する。

③ 他の JICA 事業との関係：特になし。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：トリブバン大学教育病院（Tribhuvan University Teaching Hospital）

② 他機関との連携・役割分担：調査にて確認

③ 運営／維持管理体制：TUTH は我が国による協力の経験があり、既存機材に対して日常的に運用、維持管理が行われ、通常運用が滞りなく実施されている。また、診療報酬等から機材メンテナンスを含む運用費用を充当しており、技術面、財務面における事業実施に係る能力を有している（詳細は協力準備調査にて確認）。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリー分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリー分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

- (4) 横断的事項：調査にて確認
- (5) ジェンダー分類：分類未定
- (6) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

カザフスタン「ゲジルオルダ市地域病院医療機材整備計画」（2007 年）の事後評価等において、プロジェクト効果の発現のためには、機材引き渡し後の稼働状況モニタリング並びに担当コンサルタント及び調達業者のフォローアップ体制の整備が望ましいと指摘されている。本事業についても、事前の維持管理体制及び引き渡し後一定期間内のフォローアップ体制について検討する。

以 上

[別添資料] 地図

トリブバン大学教育病院医療機材改善計画

